

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

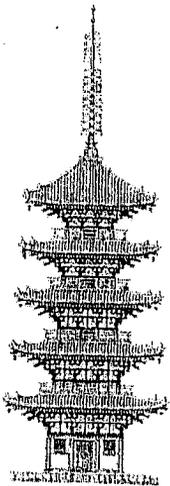
皆さん、こんにちは。早いもので今日は今年最後の弘法さんです。

弘法さんかわら版も今回で**第三十号**、来年から**足かけ四年目**に入ります。これも、皆さんにご愛読頂いているお陰です。本当にありがとうございます。

## ★ 来年の守り本尊は？

昨年の十二月号でも紹介させて頂きました。毎年の**干支(えと)**ごとに**守り本尊**が定められています。申(さる)年の今年は**大日如来**でした。さて、来年は**酉(とり)年**、守り本尊は**不動明王**です。不動明王はとても厳しい形相をしています。悪を退散させる守護神です。また、**商売繁盛**や**立身出世**にもご利益があります。

不動明王を中国から日本へ伝えたのは弘法大師です。高野山金剛峰寺には、**弘法大師作の不動明王像**があります。弘法大師ゆかりの四国霊場の日本**最小の「写し」**、**ここ覚王山八十八カ**



所霊場にも不動明王像があります。日泰寺本堂の東側**B地区**です。お時間があれば、一度お訪ねください。



不動明王立像

## ★ 百度石

その日泰寺本堂東側の階段の上には「**百度石**」と書かれた石柱があることをご存知でしょうか。石柱と本堂の間を歩き来して百回お参りすることを**お百度参り**と言います。お百度参りは全国各地にあります。お安産や**病氣治癒**の願いが叶うと古くから言い伝えられています。

家から本堂までを往復するのが本来の姿ですが、家が遠い人はたいへんです。そこで、百度石が誕生しました。百度石はお百度参りの折り返し点の道標なのです。

先月号では、**一直線に聖地を目指す巡礼**や、四国霊場の**ように回る巡礼**を

ご紹介しました。お百度参りは、言わば**往復する巡礼**と言えるかもしれないね。

### ★「町石」の謎

百度石とは性格が違いますが、石造りの道標は、高野山や四国霊場の巡礼に欠かせないものです。高野山の山上に至る表参道には、一町（＝百九メートル）ごとに**町石（ちやういし）**と呼ばれる石柱が立てられています。参道入口から**根本大塔まで百八十基**あります。また、根本大塔から**奥の院**に至る**三七七**の道には**三十六基**の町石があります。



「百六十三町」の上に  
梵字が描かれています

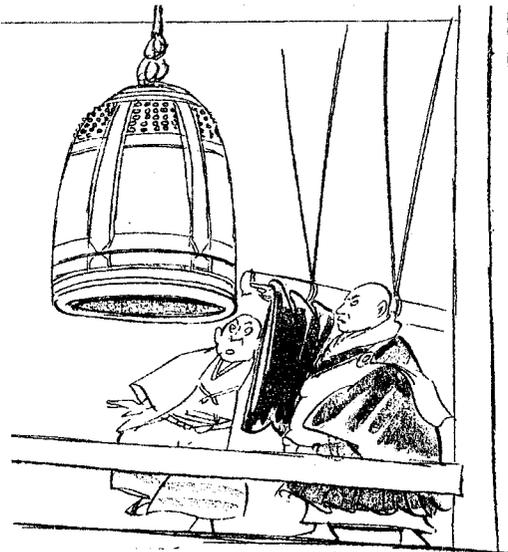
この町石の数には深い意味があります。この数は弘法大師が日本に伝えた密教の**曼荼羅（まんだら）**と関係があります。曼荼羅とは、仏様の世界を図で表したもので、**胎蔵界曼荼羅**と**金剛界曼荼羅**の二つがあります。胎蔵界に描かれる仏様の数が**百八十**、そして金剛界の仏様の数が**三十七**であることにちなみ、同じ数の町石を立てたと

いうわけです。

さらに、この町石は弘法大師の生誕地、**讃岐（香川県）**から運んできたものだそうです。

### ★日泰寺の除夜の鐘で四苦八苦忘れ

あと数日で大晦日です。日泰寺でも恒例の除夜の鐘が突かれます。除夜の鐘はなぜ百八回かという、人間が持つ**百八の煩惱**を消し去るためと言われていています。また、人間のさまざまなきしみ、つまり**四苦八苦**を消すためという説もあります。**苦**は**九**と考えると、**四×九十八×九**は**百八**になります。



それでは、皆さん、来年もどうぞよろしく願います。日泰寺の除夜の鐘を聞き、今年の**四苦八苦**を忘れ、よい年をお迎えください。